

家畜衛生情報 No.2

令和4年4月28日

上北地域県民局地域農林水産部 十和田家畜保健衛生所
上十三地区家畜衛生推進協議会
(一社)青森県畜産協会

0176-23-6235 (FAX 0176-23-3044)
0176-25-2362 (FAX 0176-24-3888)
017-722-4331 (FAX 017-731-1196)

GWにおける豚熱・アフリカ豚熱等への 防疫対策を徹底しましょう

豚熱（CSF）については、現在国内の発生地域ではワクチン接種が行われていますが、ワクチン接種農場でも発生が続発しており、岩手県の一関市では野生イノシシの感染も確認されています。

アフリカ豚熱（ASF）については、タイで初めて発生が確認された他、多くのアジア地域で発生が確認されており、違法持込みの肉製品によるウイルスの侵入リスクは高い状況にあります。

ゴールデンウィークを迎えるにあたり、**飼養衛生管理基準を遵守し、防疫対策を引き続き徹底**してください。

農場を守るために

- ① 海外渡航の自粛
- ② 病原体の持ち込みの防止

・看板の設置等により、必要のない者を衛生管理区域や畜舎に立ち入らせないようにすること。また、不要な物を持ち込まないこと。

・衛生管理区域もしくは畜舎に立ち入る場合、又は物を持ち込む場合には、手指の消毒、専用靴の着用、物品の消毒等を行うこと。

・野生動物や野鳥を、衛生管理区域や飼料保管場所に入れないようにすること。

（防鳥ネットの設置、周辺の除草、餌の蓋付き保管 など）

- ③ 毎日の健康観察
- ④ 異常の早期発見・早期通報



CSF (豚熱)

2018年9月以降
国内続発中

耳翼・四肢
の紫斑
または

同一豚房(豚舎)内で
・40度以上の高温
・便秘下痢、血便
・結膜炎(めやに)
・歩行困難、後躯麻痺、
・ひね豚
・流死産
・皮下出血、紅斑
を呈した豚の増加が
見られる



元気がない



結膜炎

写真出典：岐阜県

重症例は後躯麻痺・運動失調・四肢の激しいけいれんなどの神経症状・
皮下出血による紫斑(尾翼・尾・腹部・内股部)を呈し死亡

耳翼の紫斑

ASF (アフリカ豚熱)

アジア諸国で
発生確認



死亡



チアノーゼ

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、
慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、
急性では発熱(40~42℃)、皮下出血、脾
臓の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、
死亡率は100%に近い。

写真出典：国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

FMD (口蹄疫)

39℃以上の発熱

と

- ・泡状のよだれ
- ・歩き方がおかしい
- ・起立できない
- ・泌乳停止あるいは
乳量の大幅減少

いずれかの
症状を示し

口の中、唇、鼻、蹄、乳房の
いずれかに
水疱、びらん、潰瘍
または痂痕がみられる。



蹄球部皮膚のびらん、潰瘍



鼻端の水疱



鼻平面の潰瘍



乳房、乳頭の水疱、
びらん、痂皮

十和田家畜保健衛生所

電話 0176-23-6235(平日) 携帯 090-6453-7023(休日・夜間)

ホームページ

十和田家畜保健衛生所

検索